

奄美大島の気候

季節性のモンスーンと黒潮の運んでくる暖かい海水の影響を受ける奄美大島は亜熱帯海洋性気候に属します。この島は年間を通して温暖で湿度が高く、雨の日が多くあります。平均気温は 21℃前後で、年間降水量は 3,000 ミリに達することもあります。冬の 1 月と 2 月でも、気温が 10℃を下回ることはめったにありません。3 月と 4 月はさらに暖かく、よく雨が降りますが、本格的な雨期は 5 月に始まり、6 月末まで続きます。夏は暑くて日差しが強いため、島民の多くは日照時間のピーク時を室内で過ごすことを好みます。

台風銀座

他の日本の南の島々と同様、奄美大島は中部太平洋で発生する熱帯低気圧が北上する軌道上に位置しています。真夏から秋にかけて、この島は発達して台風となった熱帯性低気圧による強風や大雨に頻繁に見舞われます。暴風雨は島の集落やインフラストラクチャーに被害を及ぼすこともある一方、年間を通した水の安定供給を可能にし、島の豊かな緑にも寄与しています。奄美大島の人々は、交通機関の遅延や島外からの輸送物資やサービスの不足といった台風の影響による不便には慣れていますが、観光客は空になった店の棚に戸惑うかもしれません。